

番 号	10317
効用の種類	ふれあいによる生理・心理的効用
タイトル	東京農業大学成人学校生徒の園芸教育および園芸活動に関する意識調査
概 容	成人学校で園芸を学ぶ中高年を対象としてアンケートを行い、生涯学習における園芸教育のあり方を探る。入学時のアンケート結果では、入学の動機として園芸教育に対する関心の高さと積極性がうかがえた。卒業時にはほとんどの項目で入学時より上回っており、園芸教育による効果の表れである可能性が示唆された。
内 容	<p>(目的)</p> <p>成人学校で学ぼうとしている生徒が園芸教育に何を期待し、卒業時にはどう変化したのか、また、園芸に対してどのような意識を持っているのか等を明らかにし、生涯学習における園芸教育の在り方を探ることを目的としてアンケートを行った。</p> <p>(調査方法)</p> <p>平成14年度及び平成15年度に成人学校園芸造園本科に入学した生徒に対し、無記名でアンケートを行った。平成14年度本科生は98名、アンケートは入学時と翌年3月の卒業時に行った。アンケート回答者は入学時94名、卒業時68名であった。平成15年度本科生は102名であり、このうち入学時にアンケートを行ったのは97名であった。</p> <p>平成14年、15年度共に、男女比6:4、平均年齢60歳であった。</p> <p>(結果および考察)</p> <p>入学時の『園芸は好きですか』という質問に対して、「とても好き」「やや好き」と答えた人を合わせると各年度とも90%以上の高い割合であった(図1)。また、園芸経験者も、平成14年度84%、平成15年度78%であった(図2)。</p> <p>入学動機の回答から、園芸教育に対する関心の高さと積極性がうかがえた(図3)。</p> <p>卒業後の進路に関しては、入学時から、園芸造園専科への進学を考えている生徒が多いほか、ボランティア活動に対する希望の高いことが分かった(図4)。</p> <p>『成人学校でどんなことを得たと思うか』について卒業時に質問したところ、「勉強になった」、「今後の園芸活動のためになった」、「栽培等の知識がついた」等、入学動機として高い回答率を示した項目が卒業時にも高い満足度を示す結果となっている人が多かった。また、成人学校に通学することにより、人間関係の構築を実感している人も多かった(図5)</p>

『園芸活動でどのようなことが得られると思いますか』と言う質問に対しては、栽培や収穫の楽しみ、自分で作ったものを鑑賞したり食べたりする楽しみなど、個人的な楽しみに対する期待感の高いことがうかがえた。また、卒業時ではほとんどの項目で入学時より上回っており、園芸教育による効果の表れである可能性が示唆された(図6)。

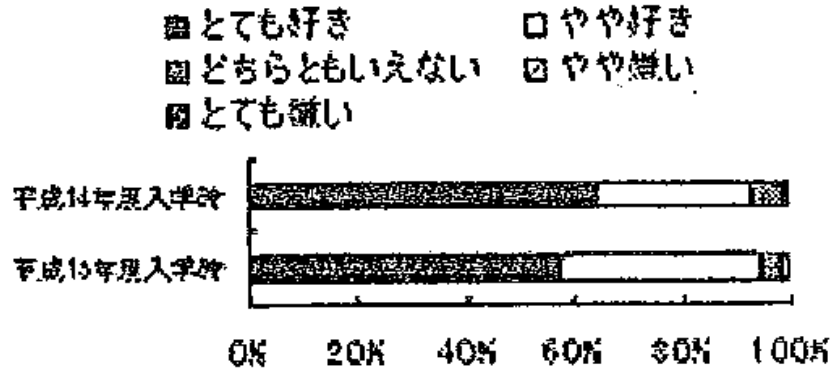


図1 園芸は好きですか

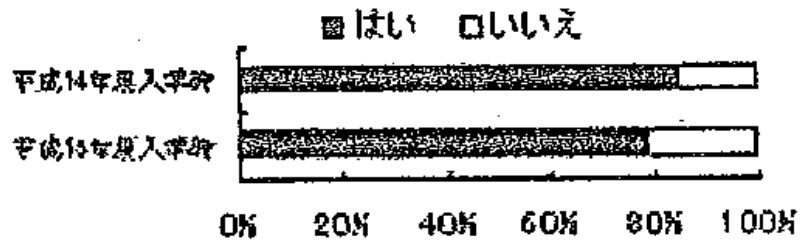


図2 園芸活動を行ったことはありますか

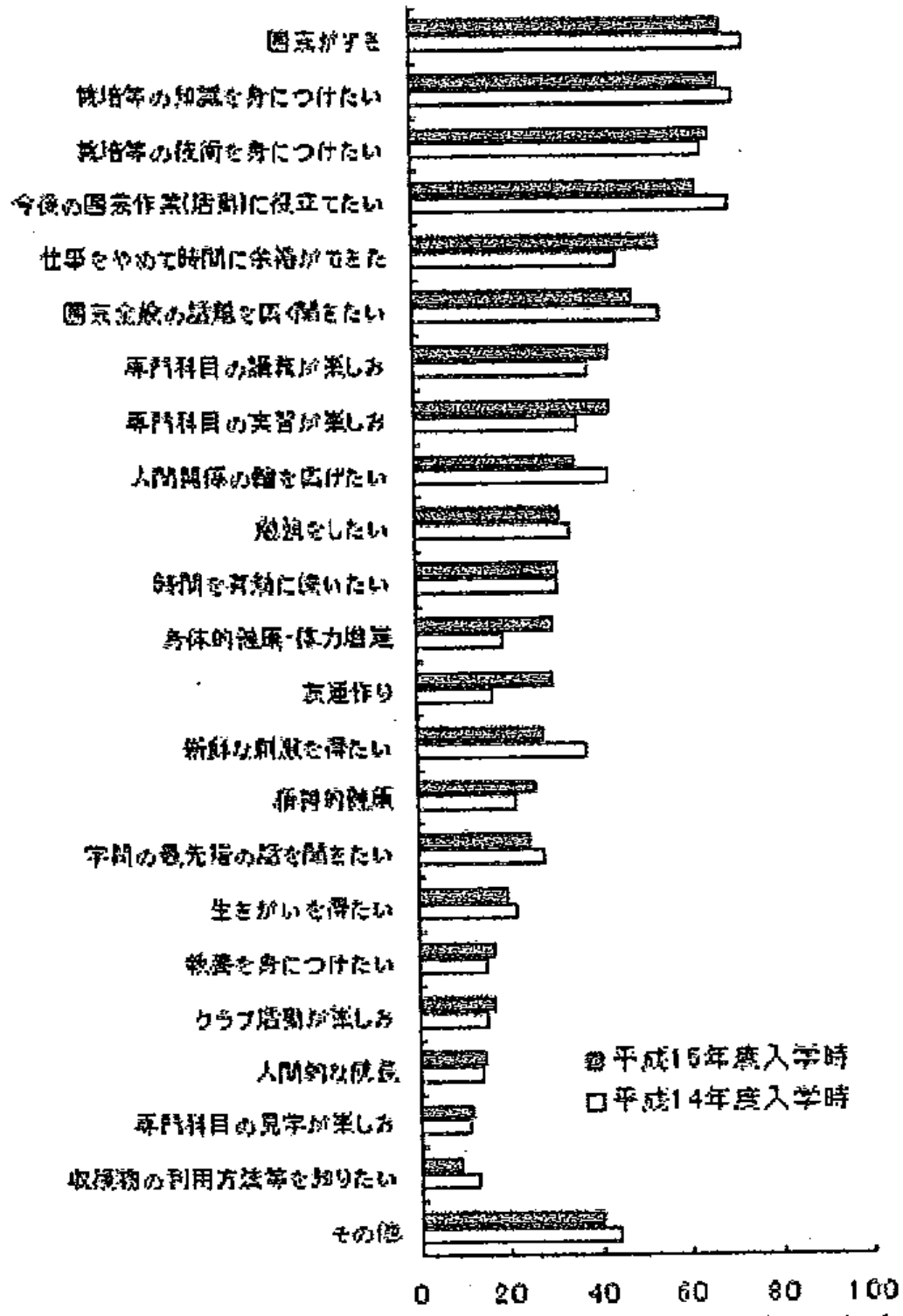


図3 成人学校入学動機(単熟回答可)

(%)

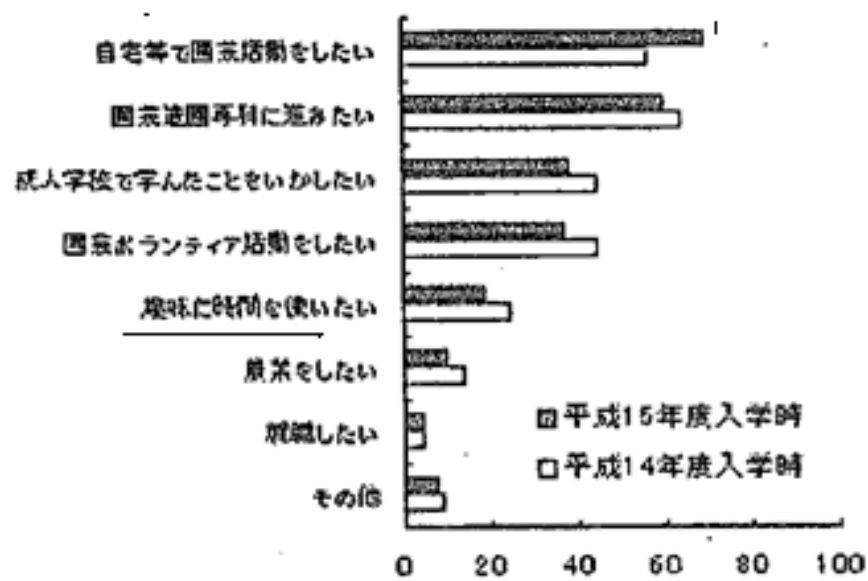


図4 卒業後の進路希望 (複数回答可)

(%)

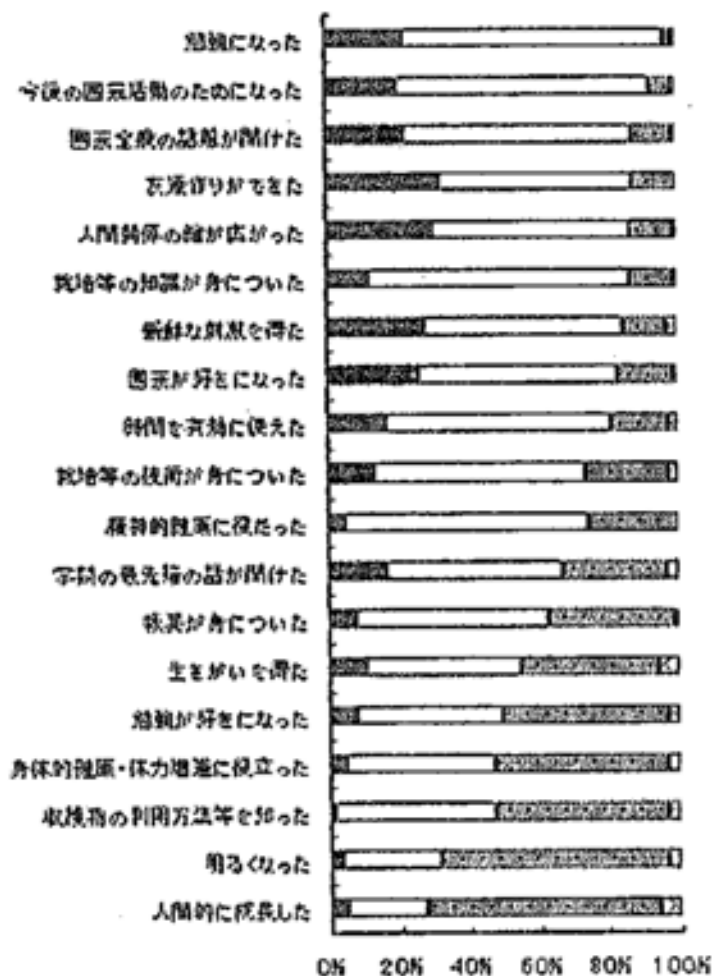


図5 成人学校で得られたこと (平成14年度卒業時)

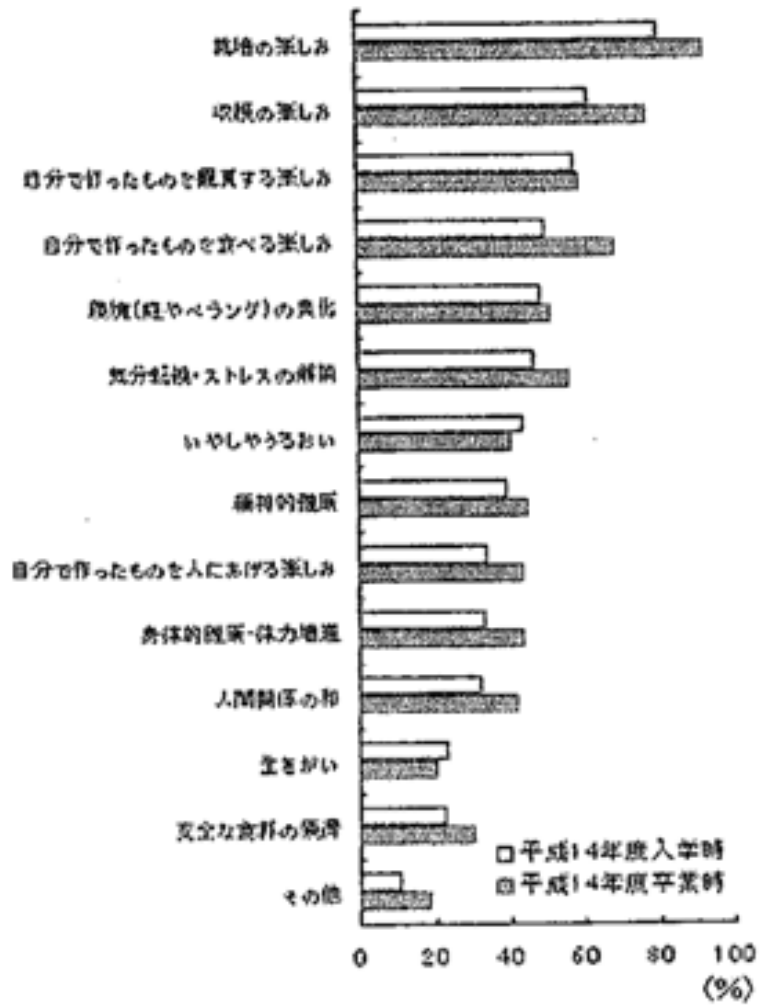


図6 園芸活動で得られること(複数回答可)

出典

人間・植物関係学会雑誌 第3巻 別冊 : 68-69 .2003年 宮田正信、木村正典、萩原信弘

備考